

範囲指定なし 第2問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 静岡商事(株)は、約束手形¥500,000の振出人である岐阜物産(株)より、手形更改の申し入れがあったので、これを了承し、同社振出しの約束手形を受け取った。なお、支払期日延期にともなう利息¥25,000は新手形の金額に含めることとした。
2. 当期末に行う予定であった修繕を翌期に行うことになったため、決算時に修繕引当金¥600,000を計上する。
3. 取引先の長野商事(株)より、借入金¥3,000,000の連帯保証人になって欲しいと依頼されたので、その申し出を引き受けることにした。なお、保証債務については、対照勘定を用いて備忘記録を行った。
4. 建設事務所を営む山梨設計(株)は、顧客から依頼されていた設計図が完成したので、顧客に提出し、対価として¥2,000,000が当座預金口座に振り込まれた。なお、設計に要した支出額¥1,200,000が仕掛品に計上されているので、これを役務原価に振り替える。
5. 富山商事(株)は、×3年2月1日に営業用自動車(現金販売価額¥1,500,000)を割賦契約で購入した。代金は毎月末に支払期限の到来する額面¥160,000の約束手形10枚を振り出して交付した。なお、利息相当額については、資産の勘定(前払利息)を用いて処理することとする。
6. 決算にあたり、当期純利益¥800,000を計上した。
7. 島根産業(株)の当座預金口座に、兵庫商事(株)の株式に対する期末配当金¥680,000(源泉所得税¥120,000を控除後)の入金があった。
8. 決算にあたり、外貨建ての売掛金¥324,000(3,000米ドル、取得日の直物為替相場は1米ドル¥108)の評価替えを行う。決算日の直物為替相場は1米ドル¥110であった。
9. 山口支店は本店の仕入先へ、本店の買掛金¥250,000を、小切手を振り出して支払った。山口支店の仕訳を行うこと。
10. 連結初年度の連結財務諸表の作成にあたって、投資と資本の相殺消去仕訳の結果、のれんを¥800,000計上している。のれんの償却は20年間で均等償却を行うものとする。のれんの償却に関する仕訳を行いなさい。

範囲指定なし 第2問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	受取手形	525,000	受取手形 受取利息	500,000 25,000
2	修繕引当金繰入	600,000	修繕引当金	600,000
3	保証債務見返	3,000,000	保証債務	3,000,000
4	当座預金 役員原価	2,000,000 1,200,000	役員収益 仕掛品	2,000,000 1,200,000
5	車両運搬具 前払利息	1,500,000 100,000	営業外支払手形	1,600,000
6	損益	800,000	繰越利益剰余金	800,000
7	当座預金 仮払法人税等	680,000 120,000	受取配当金	800,000
8	売掛金	6,000	為替差損益	6,000
9	本店	250,000	当座預金	250,000
10	のれん償却	40,000	のれん	40,000

【解説】

5. 営業外支払手形； $¥160,000 \times 10 \text{ 枚} = ¥1,600,000$
 8. $3,000 \text{ 米ドル} \times ¥110 - ¥324,000 = ¥6,000$
 10. $¥800,000 \div 20 \text{ 年} = ¥40,000$